

# 2023年度「新規高卒者採用選考にかかわる実態調査」 結果報告書の概要

## I【調査実施主体】新潟県同和教育研究協議会 進路保障部会

## II【調査内容】

2023年9月から11月末までの間に就職試験(民間・公務員)を受けた新潟県内の公立・私立高等学校生徒、中等教育学校、特別支援学校の生徒全員を対象として実施したもので、全国統一応募用紙(調査書・履歴書)以外に提出した書類と、面接時の不適切な質問内容件数をまとめたもの。

### 1 全国統一応募用紙(調査書・履歴書)以外に提出した書類(民間・公務員合算)

項目	調査回	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回	19回	20回
	年度	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
	回答者総数	5,922	4,971	4,453	4,959	4,876	5,024	4,640	4,939	4,401	4,093	4,601	4,571	3,426	4,283	5,073	4,962	5,213	5,176	5,037	5,003
事業所所定用紙	252	183	157	192	217	254	221	254	170	196	273	261	92	138	62	151	113	190	178	235	
戸籍謄本(抄本)	88	59	37	21	23	32	21	28	21	18	20	15	18	12	0	0	0	0	1	1	
住民票	85	74	71	37	39	67	38	68	32	47	40	28	22	21	13	14	17	14	16	21	
健康診断票	305	233	181	106	100	126	122	167	130	166	137	120	89	111	131	166	165	194	231	193	
血液検査表	177	123	67	45	42	60	52	69	49	72	47	47	38	37	42	46	26	60	72	40	
尿検査表	224	177	97	63	51	60	62	95	66	120	78	74	58	54	64	97	78	92	115	97	
誓約書	898	652	415	214	282	242	228	230	433	316	136	109	113	94	61	75	54	47	39	64	
合計	2,029	1,501	1,025	678	754	841	744	911	901	935	731	654	430	467	373	549	453	597	652	651	
違反件数の割合(%)	34.3%	30.2%	23.0%	13.7%	15.5%	16.7%	16.0%	18.4%	20.5%	22.8%	15.9%	14.3%	12.6%	10.9%	7.4%	11.1%	8.7%	11.5%	12.9%	13.0%	

項目	調査回	21回	22回	23回	24回	25回	26回	27回	28回
	年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
	回答者総数	4,963	4,496	4,368	4,307	3,849	3,427	2,606	2,896
事業所所定用紙	224	256	254	190	225	269	157	111	
戸籍謄本(抄本)	0	5	2	7	3	3	4	3	
住民票	11	26	11	30	9	10	12	6	
健康診断票	173	158	138	128	131	144	105	65	
血液検査表	40	36	32	14	14	19	17	12	
尿検査表	84	34	53	59	48	65	50	36	
誓約書	58	86	98	83	83	73	68	35	
合計	590	601	588	511	513	583	413	268	
違反件数の割合(%)	11.9%	13.4%	13.5%	11.9%	13.3%	17.0%	15.8%	9.3%	

### 2【提出書類に関わる問題点】 ～内定後に「誓約書」を提出させる事例が引き続き高止まりの傾向～

前回調査で減少した民間企業における提出書類違反は、さらに31件減少して37件でした。ただし、就職希望の高校生の減少幅は大きく、数字ほどには状況は改善されていないとも言えます。特に、内定後に誓約書を提出させる事例が引き続き高止まりの傾向です。

住民票の提出を求める例が6件、戸籍謄本(抄)本提出をもとめられた事例は3件ありました。いずれも民間企業では例がなく、公務員に限られます。身元調査につながる重大な問題である、本籍にかかわる項目を含む書類提出を求める事例はここ数年報告されていません。

ここ数年、入社承諾書に事業所の都合で内定取り消しができるといふ誓約書またはそれに近い内容の承諾書が多い傾向があります。承諾書の提出の有無が採用を左右するとすれば、公正採用選考の趣旨から逸脱し、看過できません。今後さらなる注意が必要です。

健康診断関連については、調査の範囲では民間企業での実施事例は全体の2%強ですが、公務員においては回答のうち7割が実施となります。職務遂行のために必要だという考え方はありますが、合否を判断するために本当に必要かどうか、その根拠を明らかにしていかなければなりません。また、実施すべきならば内定後、採用する側が費用を負担して行うべきです。

### 3 面接時の不適切な質問内容件数(民間・公務員合算)

項目	調査回	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回	19回	20回
	年度	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
	回答者総数	5,922	4,971	4,453	4,959	4,876	5,024	4,640	4,939	4,401	4,093	4,601	4,571	3,426	4,283	5,073	4,962	5,213	5,176	5,037	5,003
自宅の住所	2,827	912	684	569	578	696	504	548	436	394	361	304	148	224	203	192	175	109	99	70	
本籍	155	121	65	41	61	61	35	56	32	21	16	11	5	2	3	6	0	0	0	0	
家族構成と家族の職業	1,878	1,178	911	782	674	834	702	939	777	537	582	397	255	337	314	299	362	244	217	175	
信条・政党・新聞・愛読書等		166	119	88	77	63	61	107	62	47	34	36	14	21	26	24	46	15	19	22	
保護者死亡の理由	26	23	13	13	12	16	3	12	9	5	3	1	0	2	3	3	2	2	4	0	
保護者離婚の理由	16	9	10	9	8	28	1	5	6	2	2	0	1	1	4	1	4	1	2	1	
信仰している宗教・宗派	30	27	27	40	23	55	50	48	35	23	6	7	2	4	13	9	3	6	9	3	
合計	4,932	2,436	1,829	1,542	1,433	1,753	1,356	1,715	1,357	1,029	1,004	756	425	591	566	534	592	377	350	271	
違反件数の割合(%)	83.3%	49.0%	41.1%	31.1%	29.4%	34.9%	29.2%	34.7%	30.8%	25.1%	21.8%	16.5%	12.4%	13.8%	11.2%	10.8%	11.4%	7.3%	6.9%	5.4%	

項目	調査回	21回	22回	23回	24回	25回	26回	27回	28回
	年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
	回答者総数	4,963	4,496	4,368	4,307	3,849	3,427	2,606	2,896
自宅の住所	81	66	51	45	26	20	19	13	
本籍	2	0	1	1	1	0	1	1	
家族構成と家族の職業	145	98	93	76	68	46	23	16	
信条・政党・新聞・愛読書等	18	10	9	9	4	5	2	6	
保護者死亡の理由	0	0	0	0	0	0	0	1	
保護者離婚の理由	0	0	2	0	0	1	2	2	
信仰している宗教・宗派	0	2	1	0	0	0	0	0	
合計	246	176	157	131	99	72	47	39	
違反件数の割合(%)	5.0%	3.9%	3.6%	3.0%	2.6%	2.1%	1.8%	1.3%	

#### 4 【面接に関わる問題点】 ～件数は減少しているものの、まだ多くの不適切な質問が見受けられます～

面接の際の違反質問については、民間企業がまだまだ多い状況です。自宅の住所9件(前年16件)、家族構成または家族の職業13件(16件)、信条や支持政党、購読新聞や愛読書3件(2件)でした。件数は減少傾向ですが、住所についての質問は、書類の確認や、会話の導入といったものも見受けられますが、より詳しく掘り下げる意図も感じ取れます。実際に「住所に〇〇様方とあるが、本籍は違う場所か」という質問があり、かなり悪質な質問です。家族に関する質問についても、話の流れというよりは、強い関心を持って質問している例も見受けられます。

今回、全体の件数は減少したものの、求人の増加に伴い、高卒採用が初めて、または久しぶりにという事業所の違反事例の心配は高まります。公正採用選考の趣旨を徹底し、さらなる情報発信をするなど、とりにくみを一歩進める必要があると感じます。

【編集・発行】

新潟県同和教育研究協議会 進路保障部会  
(編集 新潟労働局職業安定課)